

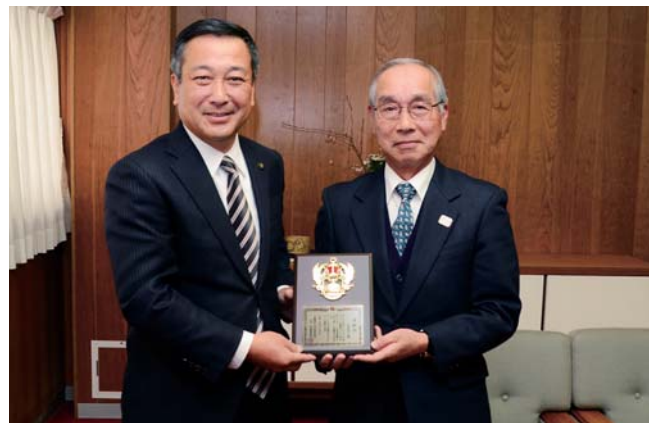
● Photo sketch ●



1/27 いつの時代も永遠の輝きよ♪

美濃陶磁歴史館(泉町)で、同町にある国指定史跡乙塚古墳と段尻巻古墳に親しんでもらおうと、約30組の親子が古代にアクセサリーやお守りとして身に付けられていた“勾玉”作りに挑戦しました。

火をおこした七輪で、材料となるガラス粉を型に詰めて溶かし、冷却後に紙ヤスリなどできれいに磨き上げました。出来たての勾玉を首に掛け「思い通りの色になった。アクセサリーとして使いたい」と、笑顔で話してくれる子もいました。



1/31 市内初受賞 市スポーツ界牽引

土岐津町の松原晃正さんが、市、東濃地区などの陸上競技協会や体育協会の組織強化に尽力するなど、長年にわたり陸上競技の普及・発展に貢献した功績により、日本体育協会の「公認スポーツ指導者等表彰」を受賞しました。市内では松原さんが初の受賞です。

松原さんは「受賞は長年携わってきただけで、各種目協会や関係者の頑張りのおかげ。将来、土岐市のスポーツの底力となる小・中学生の育成にも力を入れたい」と話してくれました。



2/4 練習の成果を存分に発揮

日常生活やものづくりに必要な技能を競うコンクール「GINOCON」がセラトピア土岐で催され、市内の小中学生約100人が参加しました。

リンゴの切り分けやくぎ打ちなどの6種目が行われ、大勢の観客が見守る中、子どもたちは日々の練習の成果を発揮し、大人顔負けの技能を披露しました。また優秀児童には、作業にかかった時間や出来栄に応じて、「合格」の認定や「マイスター」の称号が与えられました。



2/9 ~10 ぬくもりの一品 あります

東濃特別支援学校高等部の1～3年生21人が、「ぬくもり夢展」と題し、手作り製品の展示販売会をテラスゲート土岐内のまちゆいで開催しました。

販売されたのは、木工製品や、布製品、陶製の器など約50種類の品々。全て手作りの一品物で、中でも生徒自らがデザインしたイラスト入りのエコバックなどが人気を集めていました。

商品の説明や会計なども自らで行い、実践的な販売経験を通じて接客マナーなどを学びました。



1/30 夢を声に出そう! そして叶えよう!

一流のスポーツ選手が子どもたちと交流する夢の教室が、下石小学校の5年生を対象に行われました。

この日の夢先生は、ロンドン五輪、リオ五輪の競泳日本代表選手の松本弥生さん。教室の前半は、夢先生と一緒に体育館でゲームを行い、どうしたら達成できるかなど、クラス全員で作戦を立てながら挑戦しました。後半は、夢先生がオリンピックを目指した動機や、その夢を叶えるまでの道のりを振り返りながら“夢を持ち続けることの大切さ”を児童らに熱心に語り掛けました。

まとめでは、自分の抱く将来の夢やそのために頑張りたいことなどを夢シートに記入し、児童からは「プロ野球の選手になりたい、素振りやダッシュを頑張る」「バスケットでオリンピックを目指したい」などの夢が元気に発表されました。



1/19 若手教諭の指導力向上に貢献

土岐津中学校の片田誠教諭が、平成29年度文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞し、その報告に市役所を訪れました。今回の受賞は、若い教師の指導力の向上や研究の日常化に力を注ぎ、顕著な成果を上げたことが認められたものです。

片田教諭は、「土岐市の子どもたちのために、自分が経験・学んできたことを他の先生にも広めていきたい。また、自分自身の指導力向上にも努めたい」と受賞の喜びと、今後の教育への更なる意気込みを語りました。



1/20 たこ揚げって 難しいけど面白い!

駄知児童センターで手作りのたこ揚げイベントが催され、地元の園児や小学生、自治会女性役員や老人会のメンバーなど約30人が参加しました。

子どもたちは、用意された三角形のビニールに好きなイラストを書き、その後ストローを丁寧に貼り付けて骨組みを作るなどしてオリジナルのたこを完成させました。

「早く飛ばしたい」と外に飛び出すと、友達よりも高く揚げようと、笑顔を輝かせながら元気に走り回っていました。